



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 天馬株式会社

コード番号 7958 URL <http://www.tenmacorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤咲 雄司

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 堀 隆義

TEL 03-3598-5515

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	40,024	13.4	2,161	125.1	2,932	129.7	2,488	38.1
27年3月期第2四半期	35,301	6.5	960	△22.3	1,276	△46.8	1,802	△16.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,422百万円 (94.9%) 27年3月期第2四半期 730百万円 (△85.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	101.32	—
27年3月期第2四半期	70.24	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	89,084	74,577	83.7	3,090.55
27年3月期	90,669	75,198	82.9	3,022.77

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 74,577百万円 27年3月期 75,198百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,700	7.4	3,800	42.0	4,600	10.3	3,900	2.1	160.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	28,813,026 株	27年3月期	28,813,026 株
28年3月期2Q	4,682,434 株	27年3月期	3,935,901 株
28年3月期2Q	24,557,215 株	27年3月期2Q	25,654,710 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)におけるわが国経済は、輸出が伸び悩みましたが、個人消費が消費増税後の落ち込みから持ち直し、設備投資も良好な企業収益を背景に増加したこと等により、緩やかな回復傾向を辿りました。

一方、世界経済は米国で景気回復傾向が続きましたが、欧州では景気が低迷し、中国をはじめとする新興国経済では成長鈍化の状況となり、先行き不透明感が高まっております。

このような状況の中、当社グループの連結業績は、ハウスウエア合成樹脂製品分野の売上高が、国内において個人消費の持ち直しを背景に増加し、工業品合成樹脂製品分野の売上高は、海外において電機電子を中心に増加しました。

この結果、売上高は400億24百万円(前年同期比113.4%)となりました。

利益面につきましては、売上増等により営業利益が21億61百万円(前年同期比225.1%)となり、経常利益は前年同期との比較では為替差損益が改善したこと等により29億32百万円(前年同期比229.7%)となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に発生した川口の工場跡地売却益のような多額の特別利益がなかったこと等により24億88百万円(前年同期比138.1%)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (日本)

ハウスウエア合成樹脂製品分野は、個人消費の持ち直し等により売上高が前年同期比増加しました。一方、工業品合成樹脂製品分野は、取引先の生産海外シフトに起因する電機電子等の受注減により売上高が減少しました。利益面は、売上増加と原価改善等により前年同期比増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は、118億37百万円(前年同期比105.0%)となり、セグメント利益(営業利益)は12億81百万円(前年同期比323.3%)となりました。

#### (中国)

中国においては、天馬皇冠精密工業(蘇州)有限公司が取引先の生産海外シフト等により厳しい状況にありますが、上海天馬精塑有限公司はハウスウエア合成樹脂製品分野の売上が伸長し、天馬精密注塑(深圳)有限公司は引続き業績が順調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、141億1百万円(前年同期比110.1%)となり、セグメント利益(営業利益)は6億93百万円(前年同期比106.5%)となりました。

#### (東南アジア)

東南アジアにおいては、インドネシアのPT. TENMA INDONESIAが同国の景気低迷により、苦戦を余儀なくされましたが、ベトナムのTENMA VIETNAM CO., LTD.の業績が伸長し、タイのTENMA (THAILAND) CO., LTD.では、新設の第2工場の稼働率が向上し、業績に貢献しました。

この結果、当セグメントの売上高は、140億86百万円(前年同期比125.6%)となり、セグメント利益(営業利益)は6億49百万円(前年同期比173.4%)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて15億85百万円減少し、890億84百万円となりました。これは、現金及び預金が17億25百万円増加しましたが、投資有価証券が16億37百万円、機械装置及び運搬具(純額)が7億21百万円、原材料及び貯蔵品が5億28百万円、それぞれ減少したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて9億64百万円減少し、145億7百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が6億72百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6億21百万円減少し、745億77百万円となりました。これは、利益剰余金が19億87百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が11億12百万円減少し、控除項目である自己株式が15億42百万円増加したこと等によります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて16億13百万円増加し、110億87百万円（前年同期比は33億17百万円の増加）となりました。

各活動別のキャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

仕入債務の減少8億41百万円等がありましたが、税金等調整前四半期純利益29億40百万円、減価償却費17億30百万円等があり、36億64百万円の増加（前年同期比は19億38百万円の増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金の預入184億8百万円、有形固定資産の取得7億10百万円等の支出がありましたが、定期預金の払戻184億13百万円、投資有価証券の売却7億33百万円等の収入があり、14百万円の増加（前年同期比は20億42百万円の増加）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

自己株式の増加15億42百万円、配当金4億97百万円等の支出があり、20億39百万円の減少（前年同期比は11億11百万円の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月12日に公表しました業績予想を修正いたしました。詳細は本日（平成27年11月6日）別途公表いたしました「平成28年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,966,381	30,691,409
受取手形及び売掛金	15,363,740	14,980,734
商品及び製品	2,591,236	2,565,795
仕掛品	583,891	608,018
原材料及び貯蔵品	3,721,505	3,193,517
繰延税金資産	211,276	245,233
その他	1,972,562	2,158,005
貸倒引当金	△11,949	△11,941
流動資産合計	53,398,641	54,430,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,925,559	9,609,986
機械装置及び運搬具(純額)	11,465,663	10,744,374
その他	2,936,440	3,041,496
有形固定資産合計	24,327,662	23,395,856
無形固定資産		
投資その他の資産	3,306,246	3,287,452
投資有価証券	7,962,456	6,325,556
長期貸付金	77,500	58,601
退職給付に係る資産	1,135,439	1,142,852
繰延税金資産	120,193	120,318
その他	429,878	396,931
貸倒引当金	△89,050	△74,435
投資その他の資産合計	9,636,416	7,969,823
固定資産合計	37,270,324	34,653,131
資産合計	90,668,965	89,083,902
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,067,350	9,395,141
未払法人税等	389,203	377,661
賞与引当金	777,476	734,432
その他	3,066,202	2,885,824
流動負債合計	14,300,231	13,393,059
固定負債		
役員退職慰労引当金	210,647	204,295
退職給付に係る負債	167,807	199,237
資産除去債務	20,198	21,038
繰延税金負債	771,900	689,346
固定負債合計	1,170,551	1,113,916
負債合計	15,470,783	14,506,975

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,225,350	19,225,350
資本剰余金	18,924,500	18,924,500
利益剰余金	33,536,075	35,522,610
自己株式	△5,251,910	△6,793,494
株主資本合計	66,434,014	66,878,966
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,885,535	1,773,238
為替換算調整勘定	5,421,572	5,487,221
退職給付に係る調整累計額	456,816	437,270
その他の包括利益累計額合計	8,763,923	7,697,730
非支配株主持分	244	231
純資産合計	75,198,182	74,576,927
負債純資産合計	90,668,965	89,083,902



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	35,300,824	40,024,433
売上原価	29,821,321	33,016,252
売上総利益	5,479,503	7,008,181
販売費及び一般管理費	4,519,399	4,846,844
営業利益	960,104	2,161,337
営業外収益		
受取利息	82,308	124,017
受取配当金	102,309	101,376
有価証券売却益	336,214	355,473
為替差益	—	153,663
その他	114,606	72,915
営業外収益合計	635,437	807,443
営業外費用		
売上割引	39,287	40,477
開業費償却	31,341	2,404
為替差損	231,557	—
貸倒引当金繰入額	—	△7,000
その他	16,908	828
営業外費用合計	319,092	36,708
経常利益	1,276,449	2,932,073
特別利益		
固定資産売却益	805,109	7,265
会員権売却益	—	8,935
特別利益合計	805,109	16,200
特別損失		
固定資産売却損	5,318	2,954
固定資産除却損	6,750	5,137
投資有価証券評価損	9,000	—
特別損失合計	21,068	8,090
税金等調整前四半期純利益	2,060,490	2,940,182
法人税等	258,568	452,134
四半期純利益	1,801,922	2,488,048
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,801,920	2,488,053

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,801,922	2,488,048
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	62,431	△1,112,297
為替換算調整勘定	△1,130,898	65,640
退職給付に係る調整額	△3,793	△19,546
その他の包括利益合計	△1,072,260	△1,066,202
四半期包括利益	729,663	1,421,846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	729,662	1,421,859
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,060,490	2,940,182
減価償却費	1,729,403	1,730,255
賞与引当金の増減額(△は減少)	△102,144	△44,661
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,755	△14,623
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△456,684	△6,352
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△59,664	△36,629
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	20,089	35,552
受取利息及び受取配当金	△184,617	△225,393
為替差損益(△は益)	230,959	△86,408
固定資産除却損	6,750	5,137
固定資産売却損益(△は益)	△799,791	△4,311
投資有価証券評価損益(△は益)	9,000	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△336,214	△355,473
売上債権の増減額(△は増加)	575,705	379,930
たな卸資産の増減額(△は増加)	△484,609	556,343
仕入債務の増減額(△は減少)	△323,386	△841,331
その他	△56,691	△126,531
小計	1,832,350	3,905,687
利息及び配当金の受取額	179,340	196,896
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△286,138	△438,834
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,725,552	3,663,748
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△14,711,734	△18,408,264
定期預金の払戻による収入	11,786,108	18,412,611
有形固定資産の取得による支出	△1,664,213	△710,386
有形固定資産の売却による収入	1,263,149	8,025
有形固定資産の除却による支出	△4,537	△4,925
無形固定資産の取得による支出	△169,551	△33,376
投資有価証券の取得による支出	△5,925	△1,310
投資有価証券の売却による収入	812,066	732,736
補助金による収入	664,400	—
貸付けによる支出	△1,990	△945
貸付金の回収による収入	4,622	19,832
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,027,604	13,998
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の純増減額(△は増加)	△2,744,871	△1,541,584
配当金の支払額	△404,710	△497,138
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,149,581	△2,038,721
現金及び現金同等物に係る換算差額	△348,606	△25,921
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,800,239	1,613,103
現金及び現金同等物の期首残高	11,570,520	9,474,249
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,770,282	11,087,352

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年6月29日開催の取締役会において、自己株式を取得することを決議し、平成27年7月3日付け(約定日 平成27年6月30日)で、自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、自己株式746,300株を取得いたしました。

この結果、自己株式は単元未満株式の買取と併せ、当第2四半期連結累計期間において1,541,584千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において6,793,494千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,272,051	12,810,716	11,218,058	35,300,824
セグメント間の内部売上高 又は振替高	72,078	42,983	—	115,061
計	11,344,128	12,853,699	11,218,058	35,415,885
セグメント利益	396,280	650,227	374,376	1,420,883

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,420,883
セグメント間取引消去	12,375
全社費用(注)	△473,154
四半期連結損益計算書の営業利益	960,104

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	中国	東南アジア	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,837,422	14,101,143	14,085,869	40,024,433
セグメント間の内部売上高 又は振替高	82,915	62,022	—	144,937
計	11,920,337	14,163,165	14,085,869	40,169,370
セグメント利益	1,281,273	692,537	649,159	2,622,969

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,622,969
セグメント間取引消去	△1,668
全社費用(注)	△459,963
四半期連結損益計算書の営業利益	2,161,337

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社管理部門に係る費用であります。